

# 宮農だより

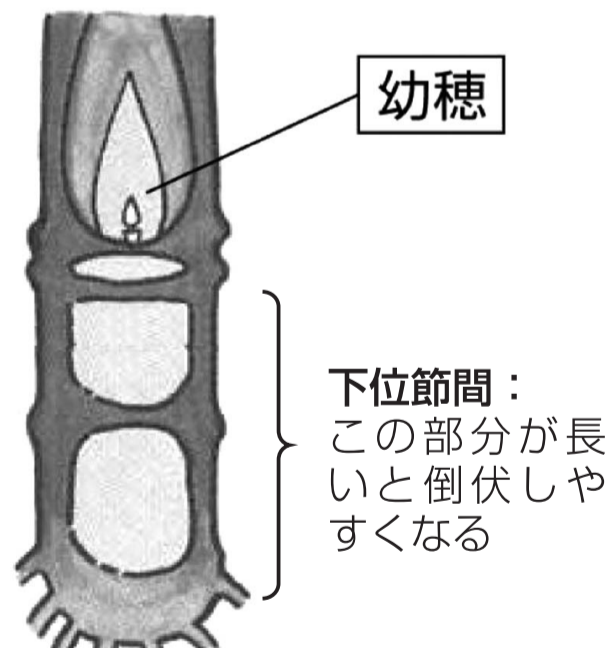
金沢営農協議会  
J A 金沢中央  
石川県農業共済組合

## 胴割粒・白未熟粒の発生注意!!

平年よりかなり気温の  
高い日が続いています

### 胴割粒・白未熟粒を発生させない当面の管理

- ✓ 出穂後は登熟向上を図るため、間断通水（3～4日おきに通水）による飽水管理を刈り取り3日前まで行う。特に、出穂後6～20日頃に高温と水分不足が重なると、白未熟粒・胴割粒の発生を助長するので通水を徹底する。
- ✓ 6月25日～7月5日頃にかけて地力窒素が多く発現したことから、コシヒカリの下位節間が、長い傾向です。早期から下葉が枯れ上がると株を支える力が弱くなり、倒伏を助長するため、飽水管理を徹底する。



今後も高温が続くことが予想されており、斑点米の発生も懸念されます。また、出穂期・収穫期も早まることが予想されるので、刈り取りの準備は早めに行う。

# 適正な乾燥調製できれいな仕上がりのお米を！！

皆さんが丹精を込めて管理してきたお米も収穫間近。これまでの努力を無駄にしないためにも、適期刈り取り、適正な乾燥調製を行い品質の良いお米を出荷しましょう。

## ヤケ米発生防止

### ✓ 収穫した籾は速やかにライスセンターか乾燥機へ

- ・刈取時の籾水分25%以上では、数時間で籾の変質が始まるので、刈取後4時間以内に乾燥機へ張込み通風する。

## 胴割粒の発生防止対策

### ✓ 高温登熟年は黄化率80～85%で収穫

- ・登熟期間が高温で経過すると胴割粒が発生しやすくなるので、黄化率80～85%で刈取する。

### ✓ 急激な高温乾燥は行わない

- ・高温で登熟したお米は割れやすいので、乾燥中の温度に注意を払い、乾燥中の穀温は35℃以下（外気が高い場合でも40℃以下）、乾減率0.8～1.0%/時間程度で乾燥する。  
天候によって乾燥速度が変わるので注意する。

### ✓ 水分ムラがある場合は2段階乾燥を行う

- ・循環の不均一や乾燥にムラがある場合は、過乾燥となりやすいので、籾水分が18%程度になったら、乾燥機を止め5～8時間おき、その後仕上げ乾燥を行う。

## もみ混入、肌ずれによる落等防止

### ✓ 籾摺り機の点検整備

- ・籾摺り機の使用前には必ずゴムローラを点検し、ロールの間隙も確認する。間隙は、籾厚の1/2を標準とする。（締めすぎると胴割粒、広いともみ混入）

**乾燥調製作業は慎重に！！**  
**急がず、慌てず、余裕をもって**